

前回の指摘を踏まえた追加資料

（農業DXの目的、プロジェクト等の関係）

令和3年3月
農林水産省

農業DXの目的、プロジェクト等の関係

究極の目的

多種多様な消費者のニーズに応じた農産物を持続性を確保しながら生産・提供するとともに、不測時においても人間の生存に必要な食料を安定的に供給できるよう、農業・食関連産業を発展させること

FaaS: Farming as a Service

デジタル技術を活用したデータ駆動型の農業経営によって、消費者ニーズに的確に対応した価値を創造・提供する農業

農業DXの基本的方向

- (1) 政府方針に基づく農業DXの推進
- (2) デジタル技術の活用を前提した発想
- (3) 新たなつながりの形成によるイノベーションの促進
- (4) 消費者・利用者目線の徹底
- (5) コロナ禍による社会の変容への対応
- (6) 持続可能な農業の実現によるSDGsの達成への貢献

現下の課題を踏まえたプロジェクト

- 1 農業者の高齢化・労働力不足や、コロナ禍の社会変容に対応しつつ、生産性を向上させ、農業を成長産業とするため、デジタル技術によりデータを活用し、消費者ニーズを起点として、経営の高度化や生産から流通・加工、販売など、食と農に関わる様々な活動の変革を実現
- 2 農業・食関連産業の現場を支える政策や行政事務においても、デジタル技術とデータの活用を徹底することにより変革を進め、国民の利便性向上と業務の効率化を実現
- 3 農業・食関連産業の事業活動や政策の実行、行政事務の遂行に活用される信頼性の高いデジタル基盤を整備

農業・食関連産業の
「現場」系
プロジェクト

KGI
▲
KPI

農林水産省の
「行政実務」系
プロジェクト

KGI
▲
KPI

現場と農林水産省をつなぐ
「基盤」の整備に向けた
プロジェクト

各プロジェクトにおいて個別にKGI・KPIを設定